

夏到来、エアコンや扇風機の火災にご注意ください

今年も既に全国的に真夏日となる日があるなか、エアコン及び扇風機を使用する機会が増える季節ですが、それに伴い火災事故も多く発生しています。

NITE(ナイト)に寄せられた製品事故情報^{*1}において、エアコン^{*2}及び扇風機^{*3}の火災を伴う事故は平成21年度～平成25年度の5年間に373件^{*4}(エアコン272件、扇風機101件)ありました。

表 主な被害状況 (単位：件)

	死亡	重傷	軽傷	拡大被害 ^{*5}	製品破損 ^{*6}	合計
エアコン	3	1	7	181	80	272
扇風機	2	3	7	73	16	101
合計	5	4	4	254	96	373

被害状況を見ると「死亡」「重傷」といった重篤な人的被害が9件、また、「拡大被害」において家屋が全焼した事例も報告されており、エアコン及び扇風機の使用時は火災への注意が必要です。

■ エアコン及び扇風機の主な火災事故事例

- エアコンの電源コードや室外機・室内機の電源配線を、改造や不適切な修理、接続したため、接触不良が生じて異常発熱し、発火した
 - … エアコンは消費電力が大きいので、コード類の改造や不適切な修理、接続（ねじり接続や延長コードとの接続等）を行うと、その場所で異常に発熱し、火災に至ります。
- エアコン用洗浄液や結露水等の電気を通ず液体がエアコンの機器内部に浸入・付着したため、トラッキング現象が発生してショートし、発火した
 - … エアコン内部には電源配線や電源基板等の電装部品があるため、洗浄液などの導電性の液体が電装部品に付着すると、トラッキング現象が生じて異常発熱します。
- 扇風機の長期使用に伴う経年劣化^{*7}によって異常発熱し、発火した
 - … 製造から年数が経過した扇風機は、部品の絶縁劣化や接触不良、断線等が生じ、異常発熱やショートを起こして周囲の可燃物に着火するおそれがあります。

■ エアコン及び扇風機の火災事故を未然に防止するため、取扱方法や事故の予兆に注意

これらの火災事故のなかには、正しい取扱方法を知り、事故の予兆に早めに気がつくことで未然に防止できるものがあります

[事故を防止するための主な注意事項]

- 電源コード類は改造や不適切な修理、接続を行わない
- エアコンの洗浄を行う際は、購入店またはメーカーの修理窓口に相談する
- 製造から長期間経過した扇風機は、就寝時や人がいない場所では使用しない
- 焦げくさい臭いや異音、異常な振動がある、動作が不安定になる、部分的に熱くなる等、平常時と違う様子がある場合は、使用を中止して電源コードを抜き、購入店またはメーカーの修理窓口に相談する

これから本格的な夏を迎えるにあたって、エアコン及び扇風機の正しい取扱い方法や注意すべき事故の予兆を知っていただき、事故を未然に防止するため、今般、注意喚起を行うこととしました。

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故（ヒヤリハット情報（被害なし）を含む）。
- (※2) ルームエアコン、室外機、室内機を含む。
- (※3) ファンの見えないものやサーキュレーターを含む。USB接続の扇風機は含まない。
- (※4) 平成27年5月29日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。
- (※5) 製品本体のみの被害にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。
- (※6) 被害状況別で、人的被害と同時に物的被害が発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。
- (※7) 製造後長期間経過したり、長期間の使用によって性能が劣化したと考えられるもの。

■ ねじり接続

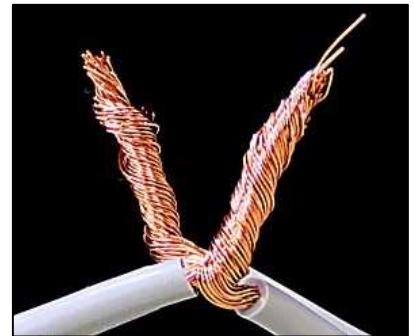
接続器具を使わずにコードの芯線をねじり合わせて、電氣的に芯線同士をつなぐ方法を「ねじり接続」といいます。

■ トラッキング現象

コンセントやテーブルタップに電源プラグを長期間差し込んだままにしていると、コンセントやプラグの周囲にホコリや湿気がたまります。

たまったホコリや水分によって、電源プラグ栓刃（差込刃）の間に微弱な電流が流れる状態となり、火花放電を繰り返すことによって電源プラグの樹脂部分が徐々に炭化して、発火へと至る現象を「トラッキング現象」といいます。

これと同様の現象がエアコンの機器内部でも生じることがあります。



（写真）電源コードのねじり接続

1. 事故の発生状況

(1) 月別 火災を伴う事故の発生件数

エアコン及び扇風機による事故 634 件のうち、火災を伴う事故 373 件(エアコン 272 件、扇風機 101 件)について、図 1 に「月別 事故発生件数」を示します。

エアコン及び扇風機による事故は 7 月から 8 月にかけて最も多く発生しており、160 件(42.9%) あります。

扇風機の事故は夏場に集中していますが、エアコンは暖房としても使用されるため、冬場にも事故が発生しています。

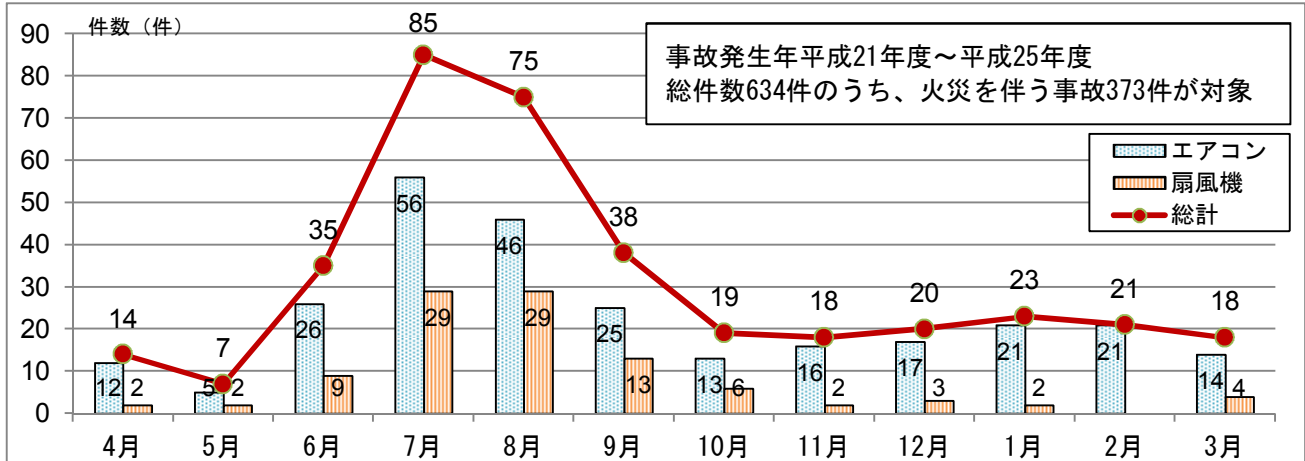


図 1 月別 火災を伴う事故発生件数

(2) 年度別 事故発生件数

図 2 に「年度別 事故発生件数」を示します。

エアコン及び扇風機の事故は、過去 5 年間で 634 件発生していますが、このうち火災を伴う事故は 373 件(エアコン 272 件、扇風機 101 件)(58.8%) あります。

扇風機において、平成 24 年度に火災以外の事故が 129 件発生していますが、これは同一事業者によるリコール製品の事故であり、製造不良によって扇風機の首部分が破損した事故が 116 件含まれているためです。

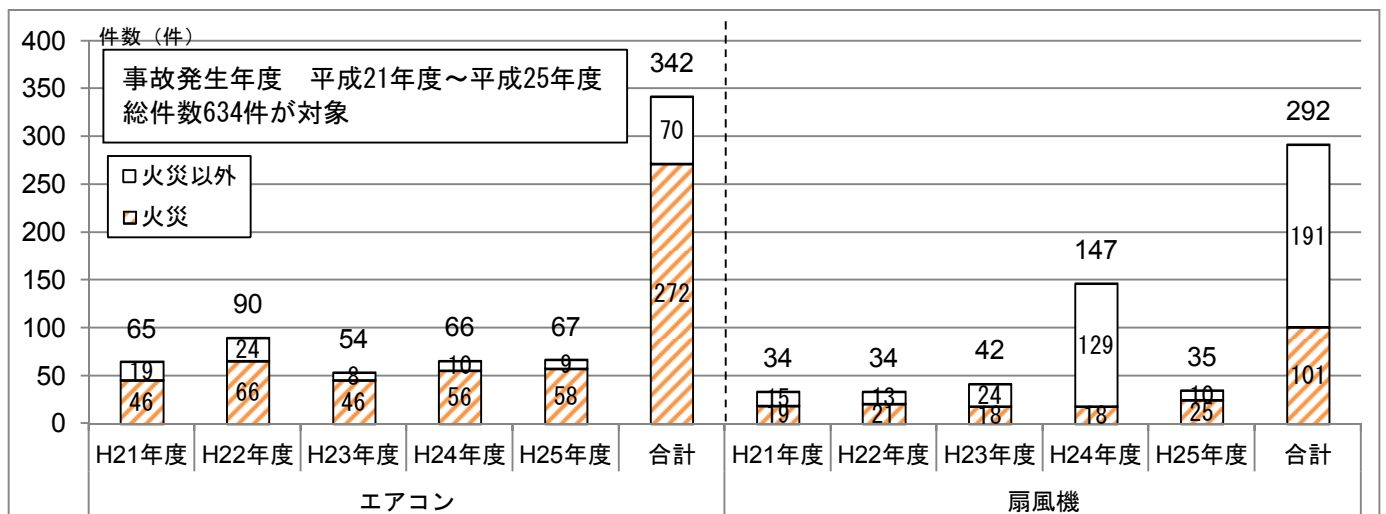


図 2 年度別 事故発生件数 (単位: 件)

(3) 製品別 被害状況

表1に「被害状況別 事故発生件数」を示します。

エアコンの事故 342 件のうち 272 件 (79.5%)、扇風機の事故 292 件のうち 101 件 (34.6%) がそれぞれ火災を伴う事故となっています。

人的被害に注目すると、死亡・重傷といった重篤被害は合計 10 件（エアコン 4 件、扇風機 6 件）ありますが、このうち 9 件（エアコン 4 件、扇風機 5 件）が事故に伴い発生した火災による被害となっています。

また、火災以外の事故で重傷を負った 1 件は、扇風機の電源コードが損傷して芯線が断線し、ショート、スパークによって生じた火花でやけどを負ったものです。

表 1 被害状況別 事故発生件数^{※8}

内 訳		被害状況		人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損破				
エアコンの 事故件数	事故件数	3	1	18	192	128			342	
	被害者数	(3)	(1)	(22)					(26)	
(内数) 火災事故件数	事故件数	3	1	7	181	80	0		272	
	被害者数	(3)	(1)	(7)					(11)	
扇風機の 事故件数	事故件数	2	4	15	81	184	6		292	
	被害者数	(4)	(4)	(16)					(24)	
(内数) 火災事故件数	事故件数	2	3	7	73	16	0		101	
	被害者数	(4)	(3)	(8)					(15)	

(※8) 平成 27 年 5 月 29 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。

(4) 使用期間別 事故発生件数

① エアコン

火災を伴うエアコンの事故 272 件のうち、使用期間が判明した 249 件について、図 3-1 に「使用期間別 火災を伴う事故発生件数」を示します。

エアコンの事故は、使い始めから 16 年目までに多く発生しています。

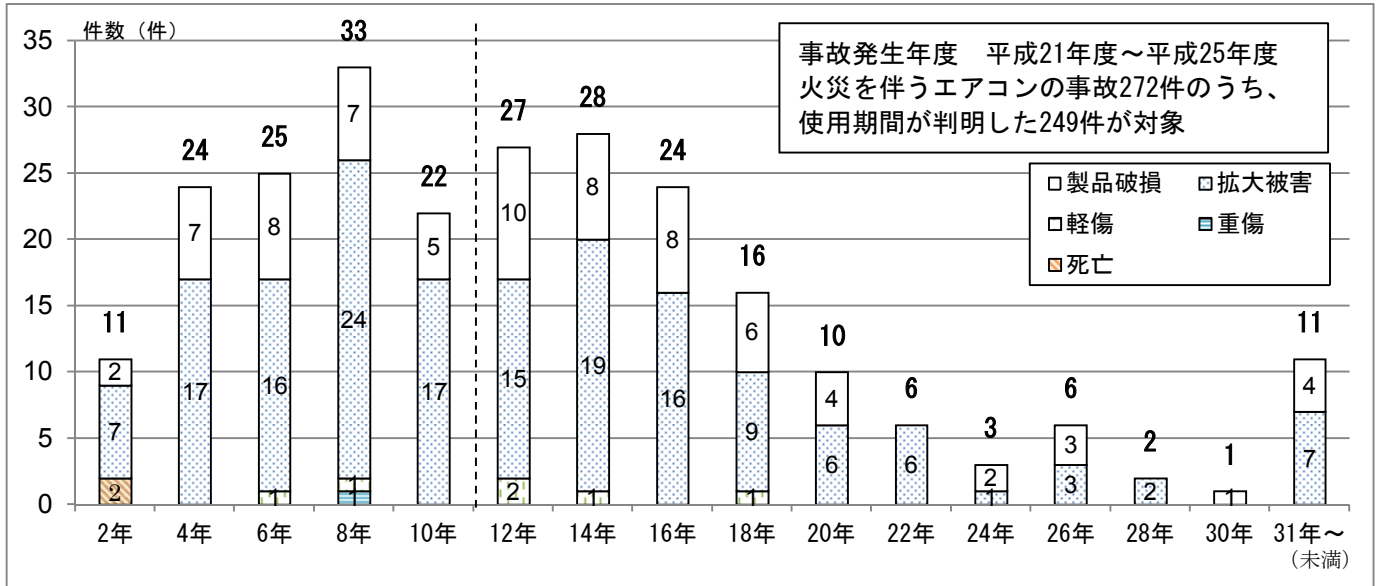


図 3-1 エアコンの使用期間別 火災を伴う事故発生件数

② 扇風機

火災を伴う扇風機の事故 101 件のうち、使用期間が判明した 93 件について、図 3-2 に「使用期間別 火災を伴う事故発生件数」を示します。

扇風機の事故は、長期使用に伴う経年劣化によるものが多く、特に使用期間が 30 年を超えての事故が 46 件と多く発生しています。

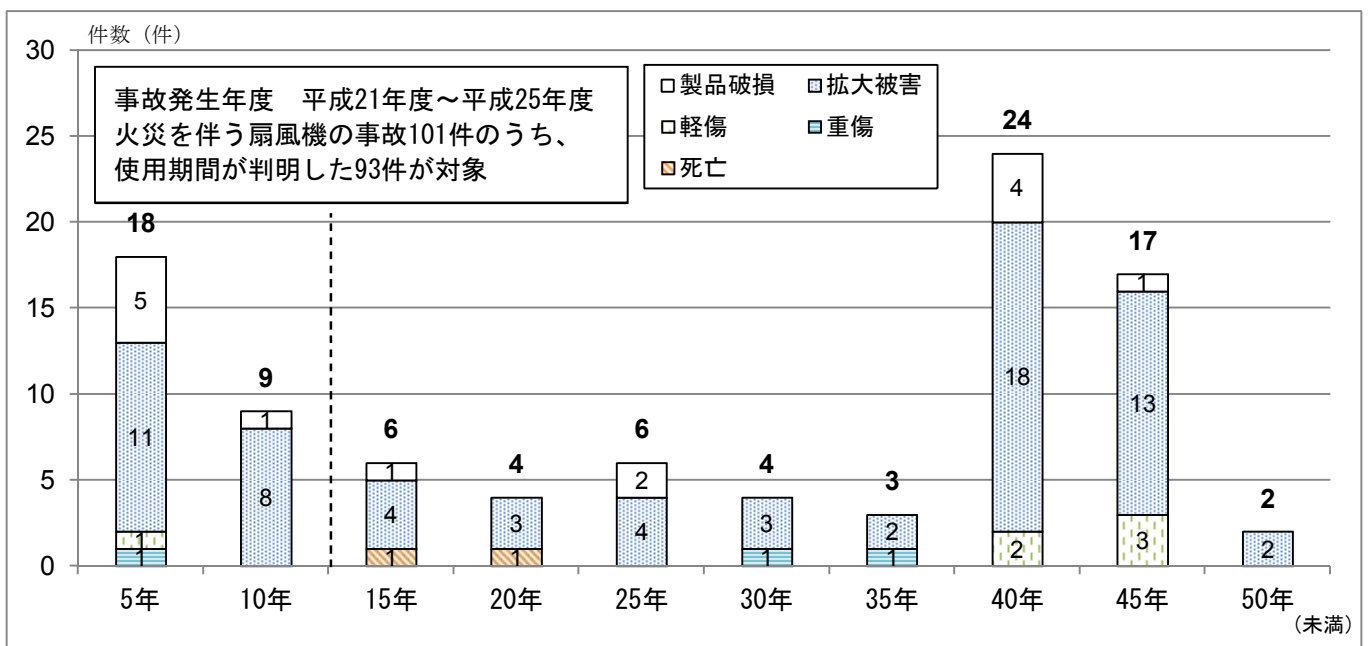


図 3-2 扇風機の使用期間別 火災を伴う事故発生件数

2. 事故の原因別被害状況及び事故の事例

(1) エアコンの原因別被害状況及び事故の事例

① 原因別 被害状況

火災を伴うエアコンの事故 272 件について、表 2-1 に「火災を伴う事故の原因別被害状況」を示します。

エアコンの事故では、「電源コード類の改造や不適切な修理、接続（ねじり接続、延長コードとの接続等）による異常発熱・発火」「洗浄液や結露水等の液体が機器内部に付着してトラッキング現象が発生してショート」が最も多く 35 件（12.9%）発生しています。

表 2-1 エアコンによる火災を伴う事故の現象別 被害状況^{※8}

事故の原因	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損破		
電源コード類の改造や不適切な修理、接続（ねじり接続、延長コードとの接続等）による異常発熱・発火		1 (1)		3 (3)	28	3		35 (4)
洗浄液や結露水等の液体が機器内部に付着してトラッキング現象が発生してショートした					18	17		35 (0)
長期使用によって絶縁劣化や接触不良等が生じて異常発熱、発火					7	10		17 (0)
製造時のはんだ付け不良によってはんだクラックが生じて異常発熱・発火					3	5		8 (0)
機器内部に小動物や異物が侵入、基板に接触する等によってショート、異常発熱等					2	5		6 (0)
その他（事業者の施工不良で異常発熱、製造時の処理不良でトラッキング現象等）、原因不明（焼損が著しい等）		2 (2)		3 (3)	102	34		142 (5)
小計	事故件数 被害人数	3 (3)	0 (0)	6 (6)	160	74	0	243 (9)
現在調査中のもの			1 (1)	1 (1)	21	6		29 (2)
合計	事故件数 被害人数	3 (3)	1 (1)	7 (7)	181	80	0	272 (11)

(※8) 平成 27 年 5 月 29 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。

② 主な事故の事例

- **電源コード類の改造や不適切な修理、接続（ねじり接続、延長コードとの接続等）による異常発熱・発火**

平成 24 年 8 月 21 日（東京都、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のエアコンの電源コードから出火する火災が発生し、周辺をススで汚損した。

【事故の原因】

エアコンの電源コードを途中で切断し、別のプラグ付きコードにねじり接続していたため、接触不良により異常発熱し、発火に至ったと推定される。

【参考】 平成 26 年 1 月 27 日（石川県、70 歳代・女性、死亡）

エアコンの電源プラグを延長コードに接続して使用していたため、繰り返しのエアコン始動時の突入電流に耐えられず、延長コードのタップ内部が異常発熱し、出火して住宅を全焼、1 人が死亡した

- **洗浄液や結露水等の液体が機器内部に付着してトラッキング現象が発生してショート**

平成 25 年 8 月 29 日（富山県、拡大被害）

【事故の内容】

使用中のエアコン室内機から出火する火災が発生し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

エアコン室内機のファンモーターのリード線接続部分に、エアコン洗浄液等の電気を通しやすい物質が浸入・付着し、さらに室内機内部で発生した結露がリード線接続部分に回りこむことによってトラッキング現象が生じ、発煙・発火に至ったと考えられる。

- **長期使用によって絶縁劣化や接触不良等が生じて異常発熱、発火**

平成 21 年 7 月 14 日（群馬県、拡大被害）

【事故の内容】

エアコンを使用中、異音が生じたため確認すると、エアコン室外機から出火していた。

【事故の原因】

エアコン室外機に使用されているファンモーター用コンデンサーもしくはファンモーター用コンデンサーへの内部配線が長期使用（約 30 年）によって絶縁劣化したため、ショートが発生して発火に至ったと考えられる。

- **機器内部に小動物や異物が侵入、基板に接触する等によってショート、異常発熱等**

平成 25 年 6 月 11 日（三重県、製品破損）

【事故の内容】

エアコンを使用中、異音が生じたため確認すると、エアコン室外機から発煙し、内部部品を焼損する火災が発生していた。

【事故の原因】

焼損部付近には虫の死骸が残っていた。

エアコン室外機の制御基板ケース内に虫が侵入し、制御基板の高圧部に接触したため、ショート・スパークが発生し、発火に至ったと推定される。

(2) 扇風機の原因別被害状況及び事故の事例

① 原因別 被害状況

火災を伴う扇風機の事故 101 件について、表 2-2 に「火災を伴う事故の原因別被害状況」を示します。

扇風機の事故では、「長期使用によって絶縁劣化や接触不良、断線等が生じて異常発熱、発火」が最も多く 52 件 (51.5%) あります。

表 2-2 扇風機による火災を伴う事故 原因別被害状況^{※8}

事故の原因	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損破		
	長期使用によって絶縁劣化や接触不良、断線等が生じて異常発熱、発火		2 (2)	5 (5)	38	7		52 (7)
	【内数】 スイッチを切り忘れた、誤ってスイッチを入れた				13	1		14 (0)
	【内数】 運転したまま寝てしまった、運転中に他の部屋で作業等		1 (1)	2 (2)	6	1		10 (3)
	【内数】 動作不良で止まったまま通電状態になっていた			1 (1)	3			4 (1)
	電源コードや内部配線に繰り返しの屈曲など外力が加わり断線、ショートして異常発熱			1 (2)	6	4		11 (2)
	電源コード類の改造や不適切な修理、接続（ねじり接続）による異常発熱・発火				1			1 (0)
	その他（故障状態のまま雨水のかかる場所に放置したためトラッキング現象等）・原因不明（焼損が著しい等）		1 (1)	1 (1)	24	4		30 (2)
小計	事故件数 被害人数	0 (0)	3 (3)	7 (8)	69	15	0	94 (11)
	現在調査中のもの	2 (4)			4	1		7 (4)
合計	事故件数 被害人数	2 (4)	3 (3)	7 (8)	73	16	0	101 (15)

(※8) 平成 27 年 5 月 29 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。() は被害者数。

② 主な事故の事例

- **長期使用によって絶縁劣化や接触不良、断線等が生じ、異常発熱・発火**
平成 25 年 8 月 27 日（大阪府、70 歳代・女性、重傷）
【事故の内容】
扇風機及び周辺を焼損する火災が発生し、1 人がやけどを負った。
【事故の原因】
扇風機の長期使用（約 29 年）によるコンデンサーの経年劣化により、異常発熱して発火に至ったと推定される。

- **扇風機をつけたまま屋外で作業していたところ、長期使用に伴う経年劣化で扇風機が異常発熱、発火**
平成 23 年 7 月 11 日（宮城県、80 歳代・女性、重傷）
【事故の内容】
扇風機をつけたまま庭で作業をしていたところ、扇風機から出火して住宅を全焼し、1 人が重度のやけどを負った。
【事故の原因】
長期使用（約 30 年）により、モーター巻線が絶縁劣化し、レイヤショートによる異常発熱が生じ、スパークが発生して周囲のホコリ等に着火し、発火に至ったと推定される。

- **電源コードや内部配線に負荷がかかり断線、ショートして異常発熱**
平成 23 年 7 月 6 日（北海道、10 カ月乳児、性別不明、軽傷）
【事故の内容】
保護者が扇風機を使用中、その場を離れて戻ったところ、扇風機が燃えており、扇風機および周辺を焼損する火災が発生して 1 人がやけどを負った。
【事故の原因】
扇風機の電源コードが何らかの外力等によって損傷し、ショートして発火に至ったと推定される。

3. エアコン、扇風機の火災を防止するために

(1) エアコンによる火災の防止

① 電源コードを改造、加工、修理しない

電源コードをねじり接続などによって他のコードと途中接続する、断線部分をビニールテープで補修する等、電源コードの改造や不適切な修理、接続は行わないください。

接続不良によって、発煙・発火するおそれがあります。

② 電源コードを延長コード、テーブルタップ類と接続しない

エアコンの電源コードは、テーブルタップや延長コード等は使用せず、専用のコンセントに直接接続してください。

エアコンは消費電力が大きいため、テーブルタップや延長コード等を使用すると、トラッキング現象や接続不良が生じる箇所が増え、発煙・発火するおそれがあります。

③ エアコン内部の洗浄を行う際は、購入店またはメーカーの修理窓口に相談する

エアコン内部の清掃を行う際は、購入店またはメーカーの修理窓口に相談してください。

誤った方法で内部の洗浄を行うと、エアコン洗浄液などが電源配線、電源基板等の電装部品に付着してトラッキング現象の原因となり、発煙・発火が生じるおそれがあります。

④ エアコン室外機のまわりに、ダンボールやゴミ、植木鉢等を置かない

ナメクジや昆虫など小動物のすみかとなるダンボールやゴミ、植木鉢等を、エアコン室外機のまわりに置かないください。電源基板に異物や小動物が侵入・付着することによってトラッキング現象の原因となり、発煙・発火が生じるおそれがあります。

⑤ 次の症状が見られる場合は、使用を中止する

エアコンに次のような現象が見られる場合は、使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜き、購入店またはメーカーの修理窓口に相談してください。

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い
- 電源プラグが変色している
- 焦げ臭いにおいや異音がする
- ブレーカーが頻繁に落ちる
- 室内機から水漏れしている
- 架台やつり下げ場の取付け部品が腐食していたり、取付けが緩んでいたりする

(2) 扇風機による火災の防止

- ① 製造から長期間経過した扇風機は、就寝時や人がいない場所では使用しない
一般的に、製造から10年を超えて使用する、または「長期使用製品安全表示制度」における「設計上の標準使用期間」が表示された製品において、その年数を超えて使用すると、経年劣化による事故が発生する可能性があります。
- ② 使用しない時は電源プラグをコンセントから抜く
扇風機による事故の中には、「スイッチを切ったつもりが切れていなかった」「スイッチを入れたものの動かなかったため、そのままにしていた」ため、事故に至った事例も報告されています。
特に製造から長期間経過した扇風機においては、使用しない場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

③ 次の症状が見られる場合は、使用を中止する

扇風機に次のような症状が見られる場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、購入店またはメーカーの修理窓口に相談してください。

- スイッチを入れても羽根が回らない
- 羽根が回っても異常に回転が遅かったり不規則
- 羽根が回転する時に異常な音や振動がある
- モーター部分が異常に熱かたり焦げくさい臭いがする
- 電源コードに触れるとファンが回転する、回転が止まる等動作が不安定である

長期使用製品安全表示制度

エアコン、扇風機、電気洗濯機（乾燥装置を有するものを除く）、換気扇、ブラウン管テレビの5品目において、製品の長期間使用に伴う経年劣化による事故を防ぐため、「長期使用製品安全表示制度」が設けられています。

平成21年4月以降に製造または輸入される5品目においては、図4のように、「製造年」、「設計上の標準使用期間」「設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがある旨」の表示義務があります。

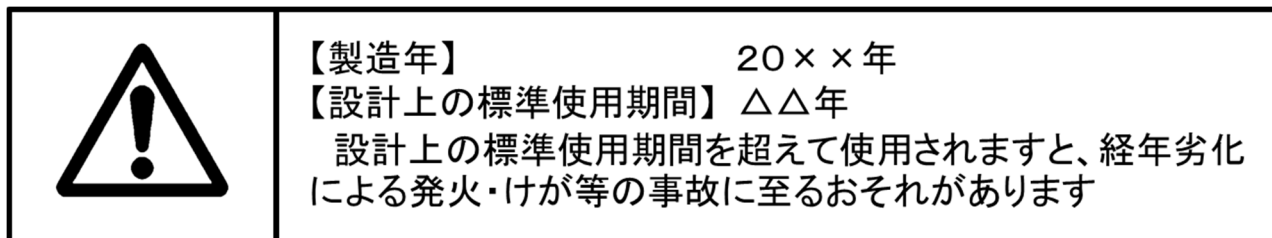


図4 長期使用製品安全表示制度 表示例

4. リコール製品による事故

(1) リコール製品による被害状況別 事故件数

表3に「リコール製品による被害状況別 事故件数」を示します。

エアコン、扇風機による火災を伴う事故 373 件のうち、リコール※9 製品における事故は 45 件ありました。

事故の事例としては

- エアコン室内機のファンモーターリード線接続部分が露出した構造だったため、エアコン洗浄液等の導電性の異物が付着した等によってトラッキング現象が生じて異常発熱、発火した
- エアコン室外機の製造時に、はんだ付け不良があったためはんだクラックが生じて異常発熱、発火した

…等があります。

表3 社告・リコール製品による被害状況別 事故件数※10

製品の種類	被害状況	人的被害			物的被害		被害なし	合計
		死亡	重傷	軽傷	拡大被害	製品損破		
エアコン					20 (17)	22 (19)		42 (36)
扇風機					3 (1)			3 (1)
合計	事故件数	0	0	0	23	22	0	45
	リコール実施後事故件数	(0)	(0)	(0)	(18)	(19)	(0)	(37)

(※9) リコールには消費者への注意喚起を含む。

(※10) 平成 27 年 5 月 29 日現在、重複、対象外情報を除いたリコール製品による事故発生件数。

() はリコール実施後に発生した事故件数

(2) リコール情報の検索

NITE ホームページにおいて、平成元年度 (1989 年度) 以降に製造事業者、販売事業者等の事業者が行ったリコール情報を収集したデータベースを公開しており、リコール情報の検索を行うことができます。

平成 21 年 4 月以降に行われたエアコン・扇風機のリコール情報について、別紙に記載しています。



<http://www.jiko.nite.go.jp/php/shakoku/search/index.php>

検索サイトを利用する場合は、「NITE リコール」等の単語で検索してください。

お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美
担当者 池谷、西澤

- 記者説明会当日
電話 : 03-3481-6566 FAX : 03-3481-1870
- 記者説明会翌日以降
電話 : 06-6942-1113 FAX : 06-6946-7280

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2015/05/15	ルームエアコン	ダイキン工業株式会社	[製品名及び型式] ルームエアコン室内機 * 室内機対象機種一覧へ http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/1.html [URL] http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/index.html
2014/10/17	ルームエアコン	ダイキン工業株式会社	[製品名及び型式] ルームエアコン室内機 * 室内機対象機種一覧へ [URL] http://www.daikin.co.jp/taisetsu/2014/141017/index.html
2010/05/21	ルームエアコン 室外機	三洋電機株式会社	[製品名及び型式] 室外機型式 : SAP-U191C、SAP-U222C、SAP-U191CN、SAP-U221CN、SAP-U221CZ、SAP-U221CA、SAP-U223CA、SAP-UE201C、SAP-UE221C、SAP-U332CA、SAP-U333CA ※参考: 室内機型式 SAP-W19K、SAP-W19KA、SAP-A19KN、SAP-A22KN、SAP-A22E、SAP-A22T、SAP-A22F、SAP-W22K、SAP-W22F、SAP-B22F、SAP-W22E、SAP-B22KZ、SAP-W22KB、SAP-BE20K、SAP-BE22K、SAP-U33EA、SAP-B33F [URL] http://jp.sanyo.com/info/products_safety/100521.html
2009/10/21	冷房専用タテ型エアコン	パナソニック株式会社(旧松下電器産業株式会社)ホームアプライアンス社	[製品名及び型式] (1) CW-145DS-W、CW-145DS-H、CW-165DS-W、CW-165DS-H、CW-C16AS-W、CW-C16AS-XB、CW-C18AS-WCW-C18AS-XB (2) CW-C16FS-W、CW-C16FS-C、CW-C18FS-W、CW-C18FS-C [URL] http://panasonic.co.jp/ap/info/important/aircon/index.htm
2009/08/21	ルームエアコン	三菱重工業株式会社	[製品名及び型式] 冷暖房兼用エアコン 室外機型式 SRC189JH(室内機型式 SRK189JH-J、STF183JH-J)、室外機型式 SRC1801JH(室内機型式 SRK1801JH) 冷房専用エアコン 室外機型式 SRCK164J(室内機型式 SRK164J)、室外機型式 SRCK181J(室内機型式 SRK181J)、室外機型式 SRCK182J(室内機型式 SRK182J)、室外機型式 SRCK183J(室内機型式 SRK183J) [URL] http://www.mhi-air.co.jp/contents/13-news/important_news0004.html
2013/12/06	扇風機	株式会社アピックスインターナショナル	[製品名及び型式] 製品名: タワーファン(扇風機) 型番: AFT-677RI(WC) / (IS) [URL] http://www.apix-intl.co.jp/
2013/07/09	扇風機	(製造)テコット社(2011年12月事業停止)(販売)株式会社ユニリビング	[製品名及び型式] 製品名: 充電式リモコン扇風機(テコット社製) 製造番号: CF-JL14R JANコード: 4562227817015 [URL] http://www.uniliv.co.jp/pop_news/04.pdf
2013/01/08	充電式扇風機	加賀ハイテック株式会社	[製品名及び型式] TECOT社製 バッテリー内蔵充電式扇風機 型番: CF-JL14R JANコード: 4562227817015 * TECOT社は倒産していますので加賀ハイテック(株)がメーカーに代わって自主回収を行っております。 [問い合わせ先等] TECOT製品サポートセンター ・フリーダイヤル: 0120-432-183(*携帯電話・PHS可) ・受付時間: 09:00~12:00/13:00~17:00(月~金曜日のみ/祝祭日を除く)
2012/11/05	扇風機	エスケイジャパン株式会社	[製品名及び型式] 品名: ハイリビング扇風機 機種品番: SKJ-KR382HR(2011年製) JANコード: 4541887009510,4541887009381,4541887009398 ※2010年製のSKJ-KR382HRは対象外です。 [URL] http://skj-felicis.com/products/fan/skj-kr382hr/skj-kr382hr_alert.pdf

公表日	品名	事業者名称	社告内容
2012/10/05	扇風機	株式会社スイデン	<p>[製品名及び型式] ブランド名: nediplus オフィス扇 対象機種: NF-40H1FL (JANコード=4538634787012)、NF-40H1FL-A (JANコード=4538634787036) 対象製造番号: MF200001~MF207674 / MF607671~MF611877 [URL] http://www.suiden.com/nedius_oshirase.htm</p>
2011/08/01	充電式扇風機	株式会社テコト	<p>[製品名及び型式] CF-LD16D ※ この製品は、措置を行うべき事業者が倒産していますので、適切に廃棄してください。</p>